

都市再生整備計画 事後評価シート
門池北部地区

平成23年3月

静岡県沼津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	沼津市		地区名	門池北部地区			面積	45.3ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,037百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	地域生活基盤施設(岡宮3号公園)、土地区画整理事業(岡宮北地区)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(調整池築造、水路築造事業)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	-			-			-			
			提案事業	①地域創造支援事業(宅地造成事業) ②事業活用調査(事業効果分析調査)			①宅地の有効利用と土地利用の増進をさらに図るため。 ②事業効果を分析し、今後のまちづくりに反映させるため。			①「良好な居住環境の京成」につながるが、数値目標は据え置く。 ②影響なし。			
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
								モニタリング	評価値				
	指標1	4M以上の道路の整備率	%	28	H18	60	H22	49	55	△	あり なし ●	目標値は達成しなかったものの、土地区画整理事業や関連事業の実施によって4M以上の道路整備が進んでいる。	平成23年4月
	指標2	公園へ歩いていける区域の割合	%	0	H18	20	H22	21	21	○	あり なし	岡宮3号公園を整備したことによって、公園へ歩いて行ける区域が増加し、目標を達成した。	-
指標3	土地利用率の向上度	%	36	H18	80	H22	59	66	△	あり なし ●	目標は達成しなかったものの、土地区画整理事業や宅地造成事業の実施によって、整形化された宅地の造成が進んでいる。	平成23年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
								モニタリング	評価値				
	その他の数値指標1	緊急車両の到着時間	分	5.0	H18	/	/	-	3.5	/	/	土地区画整理事業等の実施によって、地区の東西をつなぐ道路の整備、狭隘道路の解消が行われ、緊急車両の到着時間が短縮した。	平成23年4月
その他の数値指標2	新規住宅着工数	戸	83	H18	/	/	138	189	/	/	土地区画整理事業等の実施によって都市基盤が整備されると共に、公園や調整池などの整備によって、地区のアメニティや防災性が向上したことで、新規住宅着工数が増加した。	平成23年4月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業及びそれに関連した事業について、説明会を行ったことによって、住民の事業に対する理解が深まっている。 ・公園整備を行った事で、近隣自治会において愛護会設立への機運が高まっている。 ・地区計画に沿った住宅の着工が行われることで、良好な街並みの形成が進んでいる。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	モニタリングを実施し、計画の変更状況、実施事業の進捗状況、指標の達成状況の確認を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 他地区の都市再生整備計画及び本地区の次期計画においても適宜モニタリングを実施していく。		
	住民参加プロセス	①岡宮1号公園について、住民と協働で整備の方向性を模索するためワークショップを実施する予定だったが、事業の進捗状況から、計画期間中に実施する必要が生じなかった。 ②土地区画整理事業等に関する説明会を行ったことによって、住民の事業に対する理解が深まったと共に、住民から頂いた意見を事業に反映した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●(②) ●(①) ①事業の進捗に合わせて、地区住民で組織された「岡宮北地区画整理まちづくり協議会」と協働で岡宮1号公園の検討を進めていく。 ②今後も説明会を開催し、事業への理解度の向上、住民意見の聴取を行う。		
	持続的なまちづくり体制の構築	岡宮3号公園を整備したことによって、公園周辺の自治会において愛護会設立への機運が高まっており、情報の提供等を行っている。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 住民の自主的な活動を基本とし、市は後方支援を行う。		

様式2-2 地区の概要

門池北部地区(静岡県沼津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

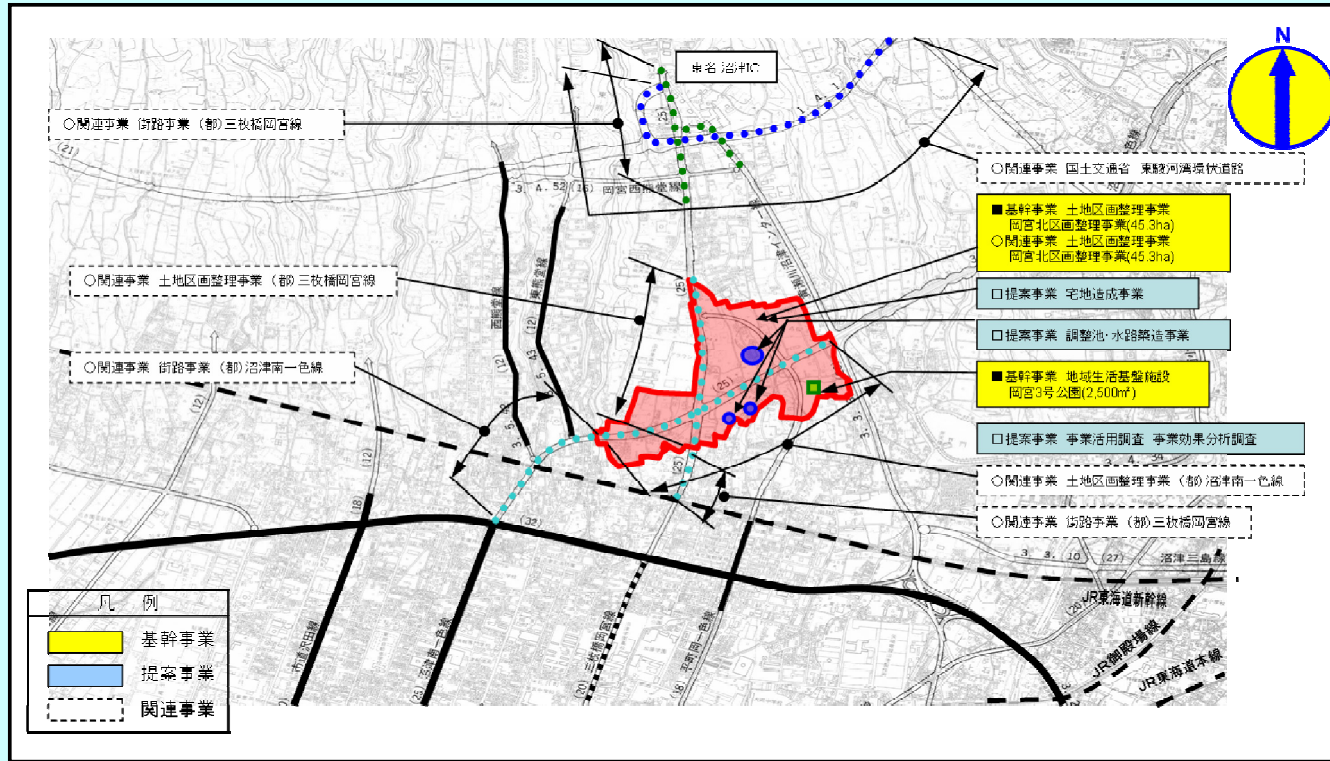
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
良好な居住環境の形成 ・土地区画整理事業により都市基盤の整備を行い、狭隘道路の解消、土地利用の向上による良好な居住環境を創出する。 ・地域生活基盤施設、調整池の整備を行い、災害の不安を解消し、安全に暮らせるまちを形成する。	4M以上の道路の整備率	単位: %	28	H18	60	H22	55	H22
	公園へ歩いていける区域の割合	単位: %	0	H18	20	H22	21	H22
	土地利用率の向上度	単位: %	36	H18	80	H22	66	H22
	緊急車両の到着時間	単位: 分	5.0	H18	-	-	3.5	H22
	新規住宅着工数	単位: 戸	83	H18	-	-	189	H22



調整池築造・水路築造事業
(4号調整池)



岡宮3号公園



土地区画整理事業
(36街区)



土地区画整理事業
(沼津南一色線)



土地区画整理事業
(三枚橋岡宮線)

まちの課題の変化

- ・宅地や区画道路、東西を連絡する道路、街区公園等に未整備な箇所があるものの、土地区画整理事業及び関連事業の実施によって、宅地の整形化、区画道路の整備、東西を連絡する道路の増加、街区公園の整備等がはかられ、居住環境が向上し、新規住宅の着工が進んでいる。
- ・急勾配な箇所、鋭角な交差点等の見通しの悪い箇所、狭隘道路がまだ地区内に残っているものの、土地区画整理事業及び関連事業の実施によって一部の急勾配な箇所、鋭角な交差点等の見通しの悪い箇所、狭隘道路が解消され、交通安全性が高まっている。
- ・調整池及び水路を整備したことによって、地区内の安全な排水が可能となったが、今後も下流域に影響を与えないように引き続き治水対策を行っていく必要がある。
- ・土地区画整理事業の実施によって、新規住民が増加しているため、既存の住民との、又は新規住民同士のコミュニティ形成をはかっていく必要がある。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・整備した道路や公園等について、適切な利用、管理が行われるように住民主体の組織による活動の実施を促す。
- ・整備した道路が安全に使われるよう、また災害への備えを行うため、住民意識の向上をはかる。
- ・引き続き土地区画整理事業等を実施することで、街路、区画道路、公園等の整備を行い、居住環境の向上をはかる。
- ・区画道路、調整池等の整備を実施することで、まちの交通安全性及び防災性を向上させ、安心して暮らせるまちをつくる。
- ・地区センターや公園等の地域住民の交流拠点を整備することで、地区のコミュニティの醸成をはかる。